

## 農林水産省あいさつ

○武田（司会）　続きまして、農林水産省を代表しまして、消費安全局農産安全管理課の伊澤課長補佐よりごあいさつをいただきたいと思います。

○伊澤（農林水産省消費・安全局農産安全管理課課長補佐）　日ごろより農林水産行政の推進に御理解と御協力いただき、まことにありがとうございます。農林水産省消費・安全局農産安全管理課の伊澤と申します。GAP全国大会の開催に当たり、補助事業者を代表いたしまして一言ごあいさつを申し上げます。

本日のテーマでありますGAPにつきましては、農業生産工程の全体を管理し、食の安全、環境の保全、経営改善など、産地が抱えておりますさまざまな課題あるいは目的に対応した適切な農業生産を実現するために有効な手段であると認識しております。

農林水産省といたしましては、昨年4月に食料・農業・農村政策推進本部において決定いたしました「21世紀新農政2007」において、GAPを積極的に導入・推進することとし、当面の推進目標として、平成23年度までに、おおむねすべての主要な産地といたしまして2,000産地において導入を目指すという数値目標を掲げて積極的に推進を図っているところでございます。産地の方々の御尽力も頂戴いたしまして取り組み産地も徐々に増加し、以前と比べると新聞等でも目にする機会がかなりふえてきたと感じておりますが、GAPについては、全体から見ますとまだまだ始まったばかりであり、取り組みの濃淡や導入に当たっての課題も見受けられる状況にあります。また、農業者への周知は進みつつあるものの、消費者や実需者など川下側の認知はまだ十分ではないという状況です。

本大会は、我が国におけるGAPの導入・推進に資することを目的といたしまして、農林水産省の補助事業として実施いただいているものでございます。生産者、実需者、消費者等を対象として、GAPの導入・推進に向け、より御理解を深めていただくために、本日は、全国的な取り組み状況を始め、国内の生産・小売の方からの経験に基づく御報告、海外の取り組みに関する調査の報告及びパネルディスカッションが行われる予定となっております。今回の大会が本日御参加の皆様にとり有意義となり、GAPの導入・推進に資するとともに、活発な意見を通じまして我々を含めました関係者間の相互理解が深まることを期待いたしまして、簡単ではございますが、あいさつにかえさせていただきます。本日はよろしくお願いいたします。（拍手）